

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: KYK 仮設トイレ用消臭剤 デオブルー

製品分類: 仮設トイレ用消臭剤

推奨用途及び使用上の制限: 仮設トイレ、車両用トイレ等の簡易水洗式トイレ用の消臭剤【業務用】

会社名: 古河薬品工業株式会社

住所: 〒349-1203 埼玉県加須市柏戸740

担当部署: 技術部

電話番号: 0280-62-1011

FAX番号: 0280-62-0650

改訂日: 2021年4月12日

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性: 区分1

生殖毒性: 区分1B

GHSラベル要素

シンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き:

- 【安全対策】** すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
吸入すると人体に害があるので換気の良いところで使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
必要に応じて保護具を着用すること(手袋・眼鏡・面・保護衣等)
- 【応急措置】** 万一飲み込んだ場合、口をすすいでください。無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けること。意識のない場合、何も与えないこと。
誤って皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗ってください
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断を受けること。
異常のある場合は医師の診断を受けること。
- 【保管】** 容器を密閉して、日光から遮断し、涼しく換気のよい所で保管すること。
施錠して保管すること。
- 【廃棄】** 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

含有成分及び含有量:

成分名	含有量 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	化管法No.	毒劇法
水	94~98	7732-18-5	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
非イオン系界面活性剤	1~2	非公開	7-97	該当なし	1種407	該当なし
クエン酸	1未満	77-92-9	2-1318	該当なし	該当なし	該当なし
香料	1未満	非公開	非公開	該当なし	該当なし	該当なし
色素	微量	非公開	非公開	該当なし	該当なし	該当なし

化審法:	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号
安衛法:	労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号
化管法:	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)対象化学物質の政令番号 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る)を1.6%含む。
毒劇法:	毒物及び劇物取締法の別表一(毒物)、別表二(劇物)、別表三(特定毒物)、毒物及び劇物指定令

4. 応急措置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにすること。呼吸に関する症状が出た場合、また気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合:	多量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い流すこと。皮膚外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、速やかに医師の診断を受けること。衣類にかかった場合は、汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合:	水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合:	直ちに水で口の中を洗浄すること。無理して吐かせずに直ちに医師の診断を受けること。水で口の中を洗わせてもよい。ただし、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
予想される急性症状及び遅発性症状:	特になし
最も重要な兆候及び症状:	特になし
応急措置をする者の保護:	特になし

5. 火災時の措置

使用可能な消火剤:	初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。 この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤:	特になし
特有の危険有害性:	特になし
特有の消火方法:	消火作業は、可能な限り風上から行なう。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護:	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。 消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する 作業の際に適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。 こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
環境に対する注意事項:	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	少量の場合: 土砂、おがくず、布切れ等に吸収させ周辺への流出を防ぐこと。 大量の場合: 盛り土などで囲って流出を防止し、ポンプ等でできるだけ回収すること。 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:	「第8項」に記載の設備対策を行うこと。
安全取扱注意事項:	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
接触回避:	「第10項」を参照。

衛生対策: この製品を取り扱うときに飲食又は喫煙をしないこと。
 眼に入らないように保護眼鏡を着用すること。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 作業衣等に付着した場合は着替えること。

保管

安全な保管条件: 製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。
 容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になる所を避け、風通しのよい冷暗所で保管すること。
 アルカリと一緒に保管してはならない。
 施錠して保管すること。

安全な容器包装材料: 製品容器に準じること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: 作業場内で取り扱う場合は、吸排気が十分取れる設計にすること。
 取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示すること。

保護具: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
 適切な保護手袋を着用すること。
 適切な眼の保護具を着用すること。必要に応じて保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 液体
 色: 青色
 臭い: 特有の香気
 pH: 5.0~6.0
 融点/凝固点: 0°C
 沸点又は初留点及び沸点範囲: 100°C
 引火点: なし
 爆発下限及び爆発上限界/可燃限界: データなし
 蒸気圧(20°C): データなし
 比重(20/20°C): 1.00
 溶解度: 水に対する溶解性 易溶
 自然発火点: なし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学安定性: 通常の取扱いにおいて安定。
 危険有害反応危険性: 特になし
 避けるべき条件: 高温への暴露、高酸化剤、アルカリ金属、金属粉末との接触
 混触危険物質: 特になし
 危険有害な分解生成物: 特になし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

<香料100%としての情報>

急性毒性(経口): 区分に該当しない
 急性毒性(経皮): 区分に該当しない
 急性毒性(吸入): 分類できない
 皮膚腐食性/皮膚刺激性: 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2A
 呼吸器感作性又は皮膚感作性: 呼吸器:分類できない 皮膚:区分1
 生殖細胞変異原性: 分類できない
 発がん性: 分類できない
 生殖毒性: 区分1B
 標的臓器・全身毒性(単回ばく露): 区分2 (麻酔作用)
 標的臓器・全身毒性(反復ばく露): 分類できない
 誤えん有害性: 分類できない

<非イオン系界面活性剤100%としての情報>

急性毒性(経口):	分類できない
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(吸入):	分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
標的臓器・全身毒性(単回ばく露):	分類できない
標的臓器・全身毒性(反復ばく露):	分類できない
誤えん有害性:	分類できない

12. 環境影響情報

<香料100%としての情報>

水性環境有害性 短期(急性):	区分3
水性環境有害性 長期(慢性):	区分3

<香料100%としての情報>

水性環境有害性 短期(急性):	分類できない
水性環境有害性 長期(慢性):	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	残余物を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。 残余物や洗浄液は直接環境中(河川・湖沼・下水道等)に廃棄してはならない。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上委託すること。
汚染容器及び包装:	使用後の空容器は内容物を完全に除去してから廃棄物処理業者へ委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号:	非該当
品名:	非該当
国連分類:	非該当
容器等級:	非該当
海洋汚染物質:	非該当

国内規制

陸上輸送:	適用される法律はない。
海上輸送:	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送:	航空法の規定に従う。
注意事項:	運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

15. 適用法令

消防法:	非該当
労働安全衛生法:	非該当
化学物質管理促進法:	ポリオキシエチレンアルキル(C12-15)エーテル(第1種:No.407)を1.6%含む
毒劇法:	非該当
船舶安全法:	非該当
航空法:	非該当
その他:	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報(引用文献等)

JIS Z 7252 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)の化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

日本オートケミカル工業会 製品安全データシート作成の指針

国際化学物質安全性カード(ICSC)

※注意

記載の内容は現時点で入手できた資料や情報並びに弊社の測定結果に基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性・有害性に関して実際の現場での使用結果を保証するものではありません。取り扱う事業者は、この情報を参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
